

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC)

2018/9/27

りそなホールディングス 市場企画部



〇概況

- ◆ 政策金利の誘導水準を0.25%引き上げ
- ◆ 声明文では「金融政策は緩和的」の文言が削除され、政策金利が中立金利に近づいていることを示唆
- ◆ 政策金利見通しは概ね不変、2021年は2020年から横ばい

- ✓ FRBは9/25-9/26に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）にて、政策金利を0.25%引き上げた。
- ✓ 声明文では、市場予想通り「金融政策は緩和的」の文言を削除。政策金利が中立金利(景気に対して刺激的でも抑制的でもない金利)に近づいていることを示唆。
- ✓ 成長率見通しでは、2018年(2.8%→3.1%)、2019年(2.4%→2.5%)を引き上げ。物価見通しでは2019年(2.1%→2.0%)が引き下げられた。
- ✓ 政策金利見通しでは、2018-2020年までは変更無し。今年4回(残り1回)、2019年3回、2020年1回の利上げを見込んでいる。今回新たに追加された2021年見通しは2020年から変わらず、利上げ打ち止めが意識される。中立金利見通し(「Longer run」)はFOMCメンバー入れ替えの影響で、前回の2.875%から3%へ引き上げられたが、概ね2.75-3.00%の範囲内との見方を維持した。
- ✓ パウエル議長は会見で、声明文の「金融政策は緩和的」の文言削除に関して、金融政策の変更を意味するものではなく、緩やかな利上げは継続すると言及した。
- ✓ 金融市場では、FOMC後に米金利が低下。声明文の文言削除のほか、利上げ加速懸念後退(政策金利見通しが概ね不変)が材料となった。12月利上げはほぼ確実とみられるが、米通商政策、中間選挙動向が波乱要因となろう。

【FOMC参加者の見通し(9月時点)】

	FRB見通し(中央値)				
	2018	2019	2020	2021	長期
実質GDP	3.1 ↑	2.5 ↑	2.0	1.8	1.8
6月時点	2.8	2.4	2.0		1.8
失業率	3.7 ↑	3.5	3.5	3.7	4.5
6月時点	3.6	3.5	3.5		4.5
PCEインフレ率	2.1	2.0 ↓	2.1	2.1	2.0
6月時点	2.1	2.1	2.1		2.0
FFレートの	2.4	3.1	3.4	3.4	3.0 ↑
6月時点	2.4	3.1	3.4		2.9

(FFレートの見通し内訳-FOMC参加者の人数)

	今後の利上げ回数	2018		2019		2020		2021	Longer run	
		6月	9月	6月	9月	6月	9月	9月	6月	9月
4.125	8回					2		1		
4.000										
3.875	7回						1	1		
3.750										
3.625	6回			1	1	3	6	2		
3.500	2020年末					1		1	1	1
3.375	5回			3	4	4	2	4		
3.250	2019年末					1			1	1
3.125	4回			4	4	1	4	1		
3.000								1	5	6
2.875	3回			4	4		1	3		
2.750									4	4
2.625	2回	1		1	1	2	1	1	1	
2.500	2018年末								1	3
2.375	1回	7	12		1					
2.250									1	
2.125	現在	5	4	1	1		1	1		
2.000										
1.875		2		1		1				
平均値		2.242	2.313	2.958	3.016	3.308	3.281	3.234	2.866	2.883
中央値		2.375	2.375	3.125	3.125	3.375	3.375	3.375	2.875	3.000

 今回FOMCで提示された中央値の利上げベース
 中央値
 【出所】FRB

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。